

園庭には実の生る木が沢山あり、園舎周辺は親水公園、緑地、広場など自然に囲まれている当園の特色を活かし「自然」をテーマに設定しました。

子ども達は夢中になって虫探しや観察を楽しんだり、木の実集めや自然物を使ったままごと遊びをしたりすることが大好きです。子ども達の探求心をさらに広げたいと考えました。

《ウォーターマット》

圧縮袋に水を入れて水のベッドをつかって遊びました。



《スポイトあそび》

大きな水槽に好きな色の絵の具をスポイトで垂らして遊びました。



《色水あそび》

いろいろな色の水を集めるとどうなるか試してみました。



《どろんこあそび》

どろんこ遊びで泥の感触を楽しみました。



《落ち葉あそび》

秋になると園庭に沢山の葉っぱが落ちてきます。木によっていろいろな葉っぱの形、色の変化があることを発見しました。

落ちていた
葉っぱを布団にして
寝てみたよ！
気持ち良いな～



カサカサって
音がしたよ～
楽しいね！

いちょうの
葉っぱを集めて
お花にしたよ！



赤くて大きい
葉っぱも
あったよ！

《まつぼっくり製作》

散歩で拾ってきた物を使って製作をしました。子どもたちは形の違いや感触の違いを感じながら、作っていました。

何色に
しようかな？
どれにしようか
迷っちゃう～



まつぼっくりって
ぼこぼこ
してる！

キラキラを
つけて
お部屋に
飾ったよ！

世界に
たった1つの
ツリーの完成！



手作りセンサーボトルを作り、ビーズがゆっくり水の中を落ちていくことに気付いてから「水の中では物がどんな風に動くのか？」に興味を持ちました。そして、ウォーターマットやスポイト遊びを楽しむ中で、水の動きを観察し、さらに興味が広がっていきました。スポイト遊びでは水の中に絵の具を垂らして遊んでいましたが、その後「絵の具を水槽に沿って垂らすとどうなるか？」を試す姿が見られたり、色水遊びに展開し、この色水を全部混ぜたらどんな色になるか実験遊びをしたりしました。最後に水が真っ黒になったのは、子ども達にとって驚きのようなものでした。落ち葉の山を園庭に設定すると、雨のように降らせたり、プールのように泳いだり、布団にしてみたり等、イメージを膨らませごっこ遊びやダイナミックな遊びに展開していきました。落ち葉のある数週間の季節ならではの遊びとして楽しみました。散歩先で拾った自然物を使い製作を行うと、まつぼっくりの形が「ザラザラしてる」「ぼこぼこしてる」と口にしたり、かさの中まで筆を入れて色つけをしている様子が見られたりしました。そのような姿から子ども達は感触や形を感じとっているのだと思いました。散歩で拾うだけでなく色をつけたことで、更に枝や木の実の観察ができました。子どもの年齢や姿、遊びの展開に合わせた素材の提供や柔軟なサポートの大切さを再認識しました。

